

039 異文化交流としての除雪ボランティア

- ✓ 北海道ならではの経験を留学生に提供
- ✓ 過疎高齢化が進む地域へ除雪と異文化の刺激を提供

取組主体	従業員数	想定災害	実施地域
株式会社北海道グローバルリンクス（当時）	20名	雪害	北海道

日本語学校を運営する株式会社北海道グローバルリンクスは、留学生を対象とした除雪ボランティアツアーを実施した。

1 取組の特徴（特色、はじめたきっかけ、狙い、工夫した点、苦労した点）

除雪をきっかけに留学生と地域社会の交流を深める

- 豪雪地帯である北海道岩見沢市の東部丘陵地域では、過疎高齢化が進行している。同地域の町内会は札幌市発着の除雪ボランティアツアーを平成 25 年から実施している。株式会社北海道グローバルリンクスは、札幌市内で短期の日本語学校を運営しておりここでは言語のほかにも日本文化の体験機会を提供していた。同社は、北海道を選んで入学した学生にこの土地の暮らしに密接な除雪作業の体験をしてもらうことは、地域社会との交流と北海道ならではの経験と思い出が提供と過疎高齢化が顕著な地域の活性化にもつながると考え、岩見沢市における日本文化体験活動としての除雪ボランティア活動を実施した。
- 同社は、除雪ボランティアに先立ち、参加留学生と受け入れ地域の双方に事前レクチャーを実施した。また、雪かきの方法を学べる DVD の作成や、それに関する日本語を学習できる教材を用意した。
- この企画の目的は除雪を通じた異文化交流であるため、除雪作業間においては餅つきを行い、それを昼食とするほか餅撒きも実施した。さらに地元の小学校の見学や温泉への入浴があわせてツアー企画に盛り込まれた。



英語字幕付きの DVD で雪かきを説明



昼食時には餅つきを実施



除雪作業後に記念撮影

2 取組の平時における利活用の状況

- 同日本語学校では、継続的な実施に向け、旅行代理店や外国人留学生に対してアピールするための外部 PR 用パンフレットを作成している。

3 現状の課題・今後の展開等

- 企画後に実施した留学生向けのアンケートでは、「誰かの助けになると思ったからこそ楽しんで取り組めた。説明があるまでなぜ除雪をすべきかわからなかった。」という声が寄せられた。今後の除雪ボランティアの実施においては、その理由と必要性をしっかりと説明する方針である。

担当者の声



外国人を受け入れることで地域社会に刺激を提供

- 除雪ボランティア企画に餅つき大会を盛り込むことで、青年層や子どもたちとの参加が促進されました。小学校の視察は、学校と地域の交流にも結び付いたと考えます。
- 留学生の参加動機の多くが「地域の役に立ちたいから」、「地域の人やボランティア同士の交流」でした。参加者の満足度の高く、双方にとって良い経験になったと思います。

問合せ先

一般社団法人北海道開発技術センター（現在） 法人番号:2430005010809
TEL 011-738-3363 FAX 011-738-1889 E-Mail konishi@decnet.or.jp